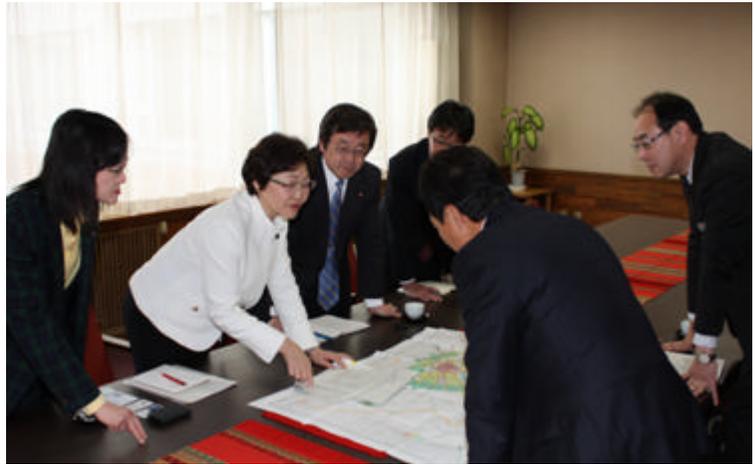


住民要望に応えたい！現地調査と懇談に

医療・介護の集積生かした旭川に

西川市長と、道への要望で意見交換



22日、西川将人市長を訪問し、北海道に対する地域からの要望について意見交換をしました。北海道が管理する旭川市内の主要な橋梁の老朽化対策について、市長から「永山中央跨線橋の下から見るとサビなどが目視で確認でき、対策が急務」と、具体的に要望が出されました。真下議員は道の老朽化対策計画に基づき、15・16年度の予定を説明し、予算確保に尽力すると答えました。また、春光台にある道立肢体不自由児総合療育センターと養護学校の新築や、道内一か所の難病

相談支援センターを道北道東をカバーできるように旭川への設置を求める要望が、市長会や難病連からもでてきていることなどについて意見交換しました。来年度に開設される高等養護学校の受け入れ準備など、具体的な要望についても意見が出され、医療・介護・福祉の機能が集積した旭川の街づくりについて熱い思いを共有しました。

東川へ向かう道路の調査についても報告しました。

東川に向かう道道、旭川東郵便局前 幅員減少で事故、安全対策を



東川町に向かう道道は、旭川東郵便局の手前の車線が4車線から2車線に減少します。交通量も増加し、2車線の外に飛び出すなどの事故が多発していると近郊の市民から選挙の演説のさなかに対策を求める声が寄せられました。

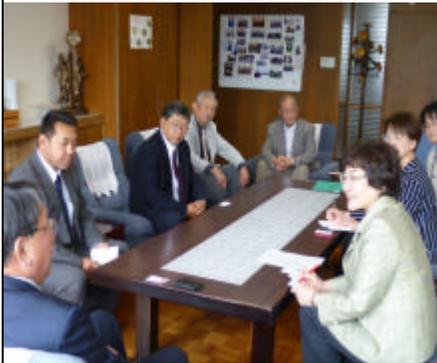


22日、真下議員は上川総合振興局の建設管理部 能登谷繁市議団 長と真嶋隆英市議が調査に同行しました。

から説明を受けました。

現場では旭川側から標識が見えにくいことや、交差点が変則になっているため大型バスなどが曲がりにくいなどの状況を確認しながら、車線減少になっても安全対応できるように改善を求めました。建設管理部で専門的な対策を検討をすることにしました。

深川駅にエレベーター設置を！



山下深川市長と意見交換

21日、「深川駅にエレベーターを！」と1万筆を超える署名が寄せられた深川駅の調査に

向かいました。

山下貴史深川市長から「深川はすべての特急が停まる主要駅です。市としても助成を行い市民の熱意に応えたい」と決意をお聞きしました。「エレベーター設置を望む会」の加藤廣一会長さんらから経過と署名のとりくみについて伺いました。

深川駅には車いす専用の階段昇降機がありますが、お年寄りや杖をついた方、視覚に障害のある方などは使えません。大き



駅に設置されている車いす用階段昇降機（リフター）

な荷物を持ってホームの移動に32段、31段の階段の昇降は危険に見えます。署名が広がったエピソードも伺い、早期の設置が必要と思われました。菊地議員と佐野議員が同行しました。